

近縁な植物の比較

イヌスギナ・スギナ

小林 浩二

イヌスギナ（とくさ科）

生育地・生育型：日当りのよい湿地などに群生する多年草。

茎・葉：地下茎は地中に横にのび、黒褐色で節からは細い根を数本出す。地上茎は緑色で、孢子茎と栄養茎との別はなく、高さ30~50cm、節には退化した葉（はかま）をつけ、その先端はとがって黒色となる。枝は節から輪生するが不規則であり、枝をつけないものもある。孢子のうは春



から秋まで見られるが、孢子のうをつける茎とつけない茎とがある。

ノート：スギナとよく似ているがスギナは地下茎に細毛が密生し、孢子茎（つくし）は春に出てやがて枯れる。はかまの先端は黒色とならず、栄養茎は円錐形で規則正しい。イヌスギナよりやや小型である。

イヌスギナ



スギナ（とくさ科）

生育地・生育型：日当りのよい道端、荒地、土手などに群生する多年草。

茎・葉：地下茎は地中に深く入り、色は黒褐色で細毛を密生して節からは細い根を数本出し、ところどころに小塊をつける。地上茎は孢子茎（つくし）と栄養茎（すぎな）とがある。孢子茎は淡褐色で高さ15~30cmで3~5の節をつける。節には退化した葉（はかま）をつけ孢子が成熟し散

り終ると枯れる。栄養茎は高さ20~40cmで節があり緑色、節からは多くの枝を輪生し、円錐形となる。

ノート：イヌスギナとよく似ている。イヌスギナの地下茎には細毛がなく光沢があり、地下茎には孢子茎と栄養茎の区別がなく、孢子のうは春から秋まで見られる。枝は不規則に出てまばら。スギナよりやや大型である。

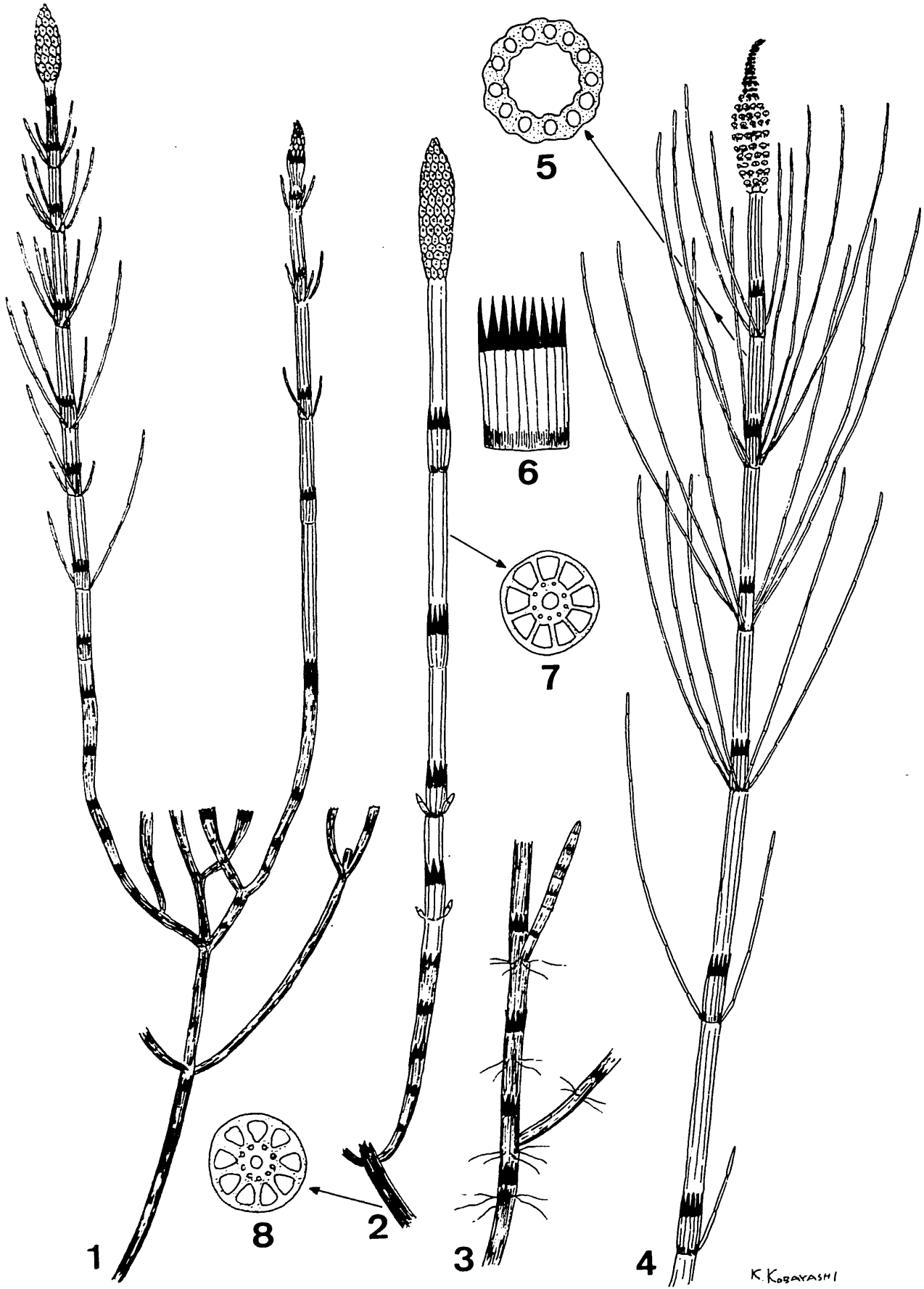
スギナ



三島郡寺泊町郷本 (1988 4 24)



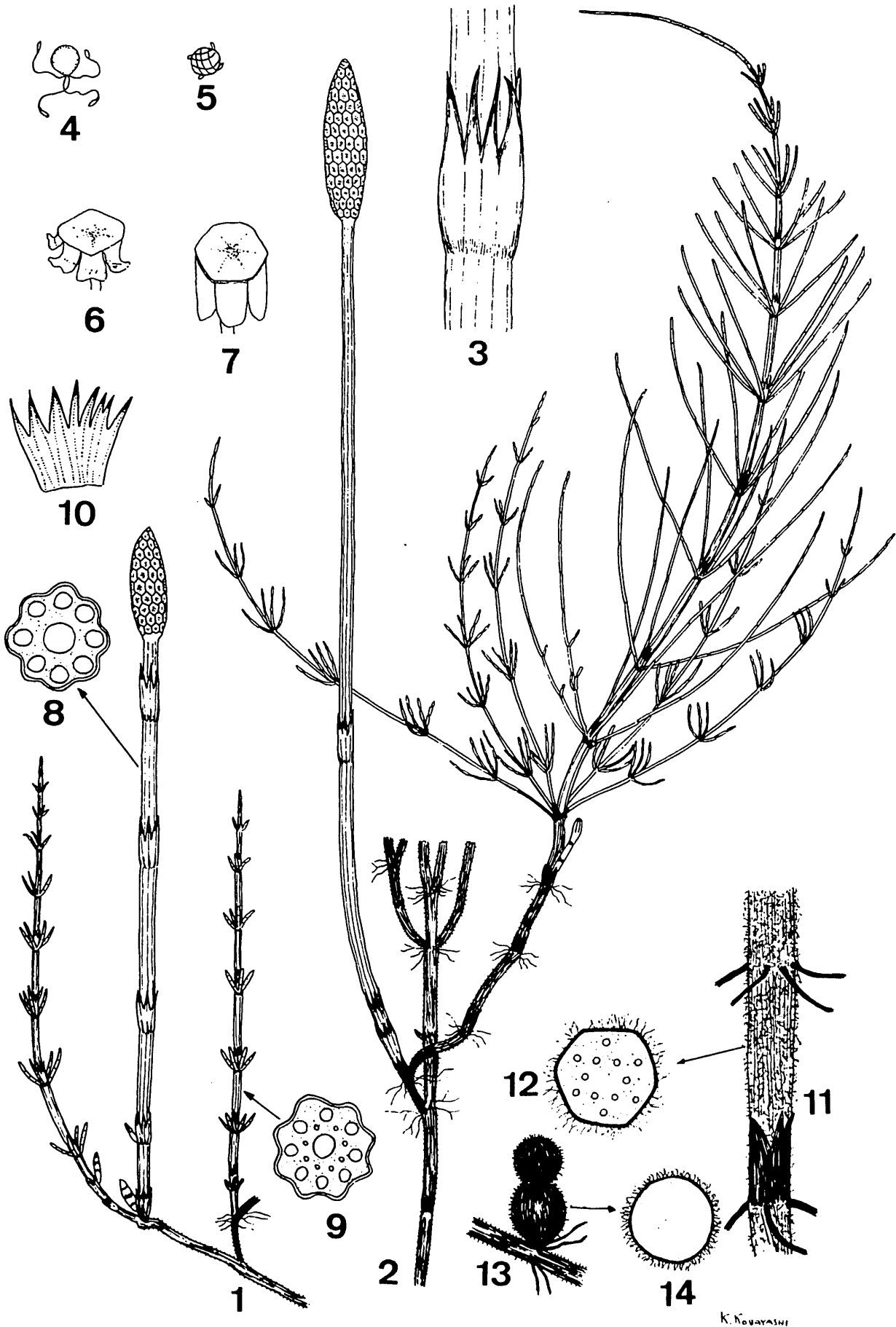
西浦原郡巻町角田山 (1980 4 27)



K. Kobayashi

図 1, 2, 全形×1 図 3, 葉 (はかま) ×4 図 4, 5, 孢子 (検鏡) 図 6, 7, 孢子のう柄×7
 図 8, 孢子茎 (つくし) の横断面×7 図 9, 栄養茎 (すぎな) の横断面×8 図 10, 地下茎小塊×1, 7
 図 11, 小塊の断面×2, 5

採集地 新潟市内野町 1990年 4月10日



K. Koyama

図 1, 2, 4, 全形×1 図 3, 地下茎×1 図 5, 茎の横断面×6, 5 図 6, 葉 (はかま) ×2 図 7, 茎の横断面×5, 5
 図 8, 地下茎の横断面×7

採集地 新潟市内野町休耕田 1991年 4月 5日